

## 1 事業所で課題と考えていること ※一部掲載

- ・学校や保育園との連携
- ・社会資源がわからない
- ・人材育成が課題
- ・離職者が多く、人員不足や高齢化
- ・就労選択支援を知ってもらいたい
- ・利用者への賃金確保が課題。仕事を見つけるのが大変で、時給分を確保できない。
- ・交通の便の課題があり、移動販売で買い物ができるといい。
- ・書類が多い。兼務が多い。シフト管理が大変。
- ・ホームヘルパーの高齢化の課題。条件と合致せず、調整難しい。
- ・利用者の方の高齢化に伴い見守りが必要な方が増えてきた。
- ・事業所内での情報共有が課題
- ・アパートタイプのグループホームでは、数が増やせない。(大家さんなど理解や家賃などの課題がある)
- ・報酬単価
- ・新規利用者増が難しい
- ・障がい児に対応できる訪問看護が少ない
- ・利用者の方の高齢化に伴う支援方法の工夫
- ・障がい児関係以外の事業所との関わりがなく、中～高校生へ伝える情報がほとんどない
- ・少子化による利用者減少が不安要素
- ・保育士の不足
- ・相談窓口が不足
- ・市障がい者福祉係だけではなく関連する係にも会議等に参加してほしい
- ・親がどこに相談すればいいのか困っている話を聞く
- ・18歳以降どうなるのかがイメージが湧かない。児から者へのつなぎ。

## 2 柳川市において課題だと思うこと ※一部掲載

- ・べにばな号の利用ができるバス停を増やしてほしい。交通の便が悪く外出できない。
- ・ヘルパー不足（重度訪問介護、移動支援、通院ができる居宅介護事業所）
- ・趣味、興味があることを他者と一緒に共有できる場所、話せる場所、集まる場所がない
- ・児・者の横のつながり、そういった機会や場所。児童もいずれ者となるので…。
- ・アパートタイプのグループホームを希望されてる方は多いが、事業所が少ない。
- ・（柳川市の福祉状況など）分からないことばかり
- ・利用者の地域移行をどう進めるのか
- ・障がい福祉に係る支援者の補充と育成
- ・人材不足で新規受け入れ困難（短期入所等）
- ・緊急対応のシステム化
- ・入居者の方などの成年後見制度利用に向けた進め方（家族が手続きできない方）
- ・各部会があることを今日知ったので、子～大人まで部会のことが分かるようにして欲しい（今回は本当に参加できて良かったです）
- ・情報のプラットフォーム
- ・区分ができるまで時間がかかる。調査員を増やしてほしい。
- ・市内に就労移行支援事業所がほしい
- ・若年層の福祉業種への就職サポート
- ・移動手段が少ない。買い物難民の問題。移動スーパーがあったら障がいがある方が地域に出やすくなると思う。
- ・ノウハウは共有できるので、移動支援・行動援護をやってみたい事業所が登場してほしい
- ・自立支援協議会部会の予算がない
- ・社会資源等の情報が得にくい
- ・学校や幼稚園・保育園との連携が課題。放課後デイ事業所のことをもっと知ってほしい。
- ・情報が入ってこないから何が課題なのか分からない
- ・一般就労との連携
- ・自立支援協議会の機能強化
- ・資源の偏り（就労継続支援B型が多く、生活介護事業所が少ない等）
- ・市制度で決まりはあるが支援者で集まり困りごとに対してサービスを作り出すような担当がほしい
- ・障がい児・者の受け入れができる避難所運営
- ・ボランティアを増やしサービスだけでなく優しさもある生活を送れる社会に

令和8年1月相談支援事業所連絡会提出  
「令和7年度ふくしネットワークやながわグループワーク」

- ・エンゼルサポーター支援事業所を社協以外に増やしてほしい
- ・各障がい福祉サービス事業所がアピールできる場所や紹介ができる場所
- ・ITを活用した業務の効率化